

2018年6月13日

**東芝が7000億円の自己株取得——方向性ポジティブは変えず**

東芝（証券コード：6502、発行体格付＝BB+）は13日、6月1日に東芝メモリの株式譲渡が完了したことを受け、7000億円程度をめどとした自己株式の取得による株主還元を早期に行う方針を決定した。具体的なタイミングや手法は今後検討するとしている。

R&Iは5月、東芝メモリの譲渡により財務基盤が強化されると判断し、発行体格付をBB+に上げ、格付の方向性をポジティブにした。7000億円の自己株式取得は資本負債構成にマイナスに働くものの、2018年度末は株主資本1兆8700億円、ネットキャッシュ1兆1000億円が従来の見通しだったことから、自己株式取得後も格付に照らして資本負債構成が良好という見方は変わらない。

7000億円という金額の規模は、天然ガスの液化に関する加工委託契約や証券訴訟等のリスクに加え、構造改革等に必要なコストや今後の安定配当なども勘案して決定した模様だ。M&A（合併・買収）に関しても慎重な対応方針を示している。このことから、株主還元的大幅な拡大や大型のM&Aが行われ、財務基盤の評価に大きく影響する可能性は小さいとみている。

今後、ガバナンスの改善状況とともに、主力事業の競争力や損益状況を精査し、事業リスク評価がBBBゾーンとして問題ないか確認し、適宜、格付に反映していく。

主任格付アナリスト：村瀬 暢

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。